

第36回地方公務員共済組合連合会資金運用委員会議事要旨

1. 日 時：令和3年3月19日（金） 15:00～16:30
2. 場 所：地方公務員共済組合連合会 特別会議室
3. 出席委員：
 - ・若杉座長 ・川北委員 ・喜多委員 ・佐藤委員 ・高山委員
 - ・竹原委員 ・徳島委員
4. 議 事
 - (1) 令和2年度第3四半期の各積立金の運用状況
 - (2) 令和2年度第3四半期の各積立金のリスク管理状況
 - (3) 厚生年金保険給付調整積立金の基本ポートフォリオの検証について
 - (4) 経過的長期給付調整積立金の基本ポートフォリオの検証について
 - (5) オルタナティブ資産への投資状況について
 - (6) 国内株式プロダクトの選考結果について
 - (7) 令和2年度スチュワードシップ活動の報告
 - (8) 令和3年度の運用方針

〈議事の概要〉

- ・事務局から上記議題について資料の説明が行われた。
 - ・その後、意見交換が行われた。
-
- (3) 厚生年金保険給付調整積立金の基本ポートフォリオの検証について
 - 今回の検証は、基本ポートフォリオ作成時と合わせ、想定投資期間を25年として実施しているが、「本当に25年でいいのか」といったことは常に考えておかないといけない。基本ポートフォリオ作成時において、25年を変えるのはなかなか難しいかもしれないが、手前の5年、10年についてシミュレーションを実施することで、かなり違う結果が出る可能性があると考えられるため、これらの期間についても検証を実施してほしい。
 - (5) オルタナティブ資産への投資状況について
 - 超過収益でもオルタナの寄与度が出始めていると思われるが、やはり本当に旧3階でオルタナティブができないのかどうかといったことを、改めて考える機会と思う。旧3階のところでは、検討課題がまだあ

と思うが、将来の年金収支を見ても、1・2階のほうがはるかに減りのペースが早く、旧3階の資産はなかなか減少しないように見受けられるため、旧3階でのオルタナティブ投資について改めて検討頂きたい。

(7) 令和2年度スチュワードシップ活動の報告

- コーポレートガバナンス原則の改正について、有識者会議でも特に議論されているのが、東証再編によりプライム市場ができるので、そこへ上場する企業に追加的にどのような要件を課すかというところや、サステナビリティ、E S Gに関する問題についてである。企業がサステナビリティにどう取り組んで価値を上げ、取締役会がそれをどう監督するかというところについては、我々のスチュワードシップ活動の内容にも影響を与えるため、同原則の改正の動向を注視する必要がある。

以上